

ドッジボールルール

1・チーム

- ★1チーム12名以上15名以内を選手登録し、内女子を2名以上登録します。
- ★試合は12名対12名で行います。
- ★1セットに必ず女子を2名以上入れること。(男子は10名まで)
- ★2セット目には必ず登録選手を全員出場させること。

2・コート

- ★おゆみ野大会はバレーコートを利用します。

3・元外野

- ★元外野は3名とし、元外野は相手の内野選手を当てなくては、内野に入ることができません。

4・試合開始

- ★試合は、ジャンプボールで始まり、ジャンパーへの第1投目の攻撃は禁止します。
- ★試合開始時、人数がそろわなくても試合を開始します。(外野は3人)

5・抗議

- ★試合中、審判に抗議することはできません。審判が下した判定に従ってください。

6・セーフ&アウト

- ★相手のノーバウンド投球を取れない場合、当てられた場合にアウトになります。
- ★相手選手をアウトにした時は、ボールある場所からプレー再開となります。
- ★一回の投球によってノーバウンドで2名以上当たった場合は、最初に当たった選手がアウトとなります。
- ★顔や頭に当たった場合はセーフとなります。
- ★相手の投球を、故意に自分の顔や頭に当てた選手はアウトとします。(審判が判断します)
- ★一度味方に当たったボールを、ノーバウンドでファール無く味方選手が取った場合は、その当たった選手はセーフです。
- ★相手の投球がファールボールの場合は、当たってもセーフです。

7・内外野への移動&内野への復帰

- ★試合中の内外野への移動は、コートの外及び審判の後ろを通ります。
- ★外野選手が相手内野選手をアウトにしても、次の場合は自分の内野に戻れません。
 - 1) アウトを取ってから外野の中でボールに触った時。
 - 2) アウトを取ってからすぐに自分の内野に戻らない時。(元外野も含みます)

8・ボールデットと、ボールの支配権

★試合中、外野ゾーンの外にボールが出た時はボールデットとなります。

- 1) 最後に触れたのが内野の選手であれば、相手の内野ボールとなります。
- 2) 最後に触れたのが外野の選手であれば、ワンタッチとなり自分の外野ボールとなります。
- 3) 内外野が投げたボールが直接ボールデットになった場合は、相手の内野ボールとなります。

9・ファール

★オーバーラインスロー

ボールを投げるときは、ラインを踏み越えてはいけません。

(2歩目も)

⇒相手の内野ボール

★オーバーラインキャッチ

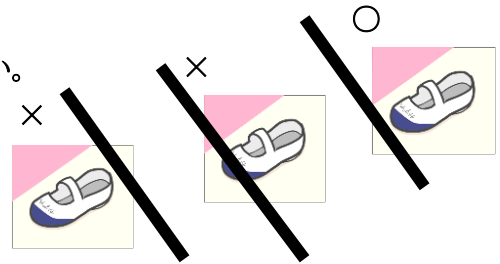
- 1) ボールを取るときラインを踏み越えてはいけません。
⇒相手の内野または外野ボール (近い相手選手へ)
- 2) 相手コート内のボールを、手や足を相手コートについて取ってはいけません。
⇒相手の内野ボール

★オーバータイム

- 1) 内外野同士のパスでも可能とするが、パスは連続で4回まで、
5回目には攻撃をすること。(内野・外野同士でのパスは禁止とする)
⇒相手の内野ボール
- 2) パス・攻撃ともに5秒以内に投げなければならない。
⇒相手の内野ボール

★オーバーランニングスロー

外野選手が極端に走って投げることを禁止する。(外野ゾーン幅での投球)
⇒相手の内野ボール



10・試合形式 (おゆみ野地区 地域ルール)

★試合は2セットマッチ。2セット勝利で無条件勝利。

★試合時間は、基本1セット5分とする。(参加チーム数により変更します)

- 1) 1勝1敗となった場合、2セットの内野残総数で勝敗を決定します。
- 2) 内野総数も同数の場合
 - ア) 1セットの再試合 (3分)
 - イ) 内野同数で3分過ぎた場合、その時点から内野を一人当てたチームの勝利。

11・試合開始

★試合開始時間に、選手が集合しない場合、コート上にいる選手人数により、試合を開始する。尚、そのセットのジャンプボール後にいなかった選手を、そのセットに参加させることはできない。(元外野は必ず3人とする)

12・審判員

★試合は原則として、主審・副審・線審（4名）・計時員・記録員を配置する。

★主審・副審・線審の各審判は、アウト・セーフ及び反則などを判定し、ホイッスルで合図する。

1. 主審はセンターラインサイドに位置する。

ア 試合の開始、終了の合図を行う。

イ ジャンプボールをあげる。

ウ アウト・セーフ及び反則などの判定をし、宣告する。

エ 選手交代の申告を確認し、許可する。

オ 試合終了時に勝敗の判定を宣告する。

カ 判定に疑義が生じた時、また必要に応じて試合を中断（レフリータイム）しセンタージャンプサークル付近に審判員全員を集め、協議し処置を行う。

キ その他、試合進行に必要な処置を行う。

2. 副審は主審と対面側のセンターラインサイド付近に位置し、主審を補佐する。

ア アウト・セーフ及び反則などの判定をする。

イ 選手交代の申告を主審に伝える。

3. 線審は内外野ラインのコーナー付近に位置し、ラインクロス等の判定をする。

4. 計時員は主審の後ろに位置し、主審を補佐して下記の任務を遂行する。

試合開始（主審がジャンプボールをあげた時）とともに時間を計測し、試合終了などの時間経過を主審に告げる。

（選手交代の時間は試合時間に加えない）

5. 記録員は主審の後ろに位置し、主審を補佐して下記の任務を遂行する。

ア 各セットごとに勝利チームを確認し、内野に残っている人数を記録する。ゲーム終了時に勝敗を確認し、主審に伝える。

イ 選手交代時に登録用紙によって、競技者を確認する。

